

(資料4-3)

第3部会（文教厚生）

～第4次高砂市総合計画策定に向けて～

第3次総合計画 主要課題

発 表 資 料

高砂市企画総務部

第1章 やさしさと健やかな心を育むまちづくり

『市民福祉の充実と生涯健康づくりの推進』

第1節 市民福祉の充実

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
1 地域福祉 現況調書（要約版） P 1	◇高砂市地域福祉計画の推進 → 充実 福祉意識の高揚から地域福祉意識の向上へ ◇複合福祉センター建設事業 → 改善	・複合福祉センター建設について、再検討が必要である。
2 児童福祉 P 2, 3	◇高砂市次世代育成支援行動計画の推進 → 改善 ◇子育て支援センター運営事業 → 充実	・幼稚園と保育所の一元化について、市の考え方を記載すべきである。（第2章、第1節、1 就学前教育に記載あり。） ・幼児教育は幼保一緒に指導する方向で考えていくべきである。 ・保育園と幼稚園が一元化したときの保育環境の変化が気になる。
3 障害者（児）福祉 P 4～6	◇高砂市障害者計画の推進 → 継続・改善 ◇高砂市障害福祉計画の推進 → 継続 ◇障害者相談支援事業 → 充実	・聴覚障害児は幼少期からの専門教育が必要であるため、専門の学校を充分活用すべきである。 ・現在、障害児は障害者福祉に位置付けられているが、子どもであるので児童福祉に位置づけたほうがよい。 ・障害の種別を認識して、教育・訓練を行うべきで、低年齢からの対応が大事である。 ・障害者、健常者、ともに行動することが普通になってきている。市は率先してやって欲しい。

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
4 高齢者福祉 P 7、8	◇高砂市福祉計画及び高砂市介護保険事業計画の推進 → 継続・改善	・方向性に基づき、継続、改善とする。
5 ひとり親家庭の福祉 P 9	◇高砂市母子家庭等自立促進計画の推進 → 継続・充実 ◇母子家庭自立支援事業 → 充実 課題：自立支援に向けた施策（認知度が低い）	・父子家庭への支援等はどうか。
6 低所得者福祉 P 10	◇生活保護援護事業 → 継続 課題：生活保護の状態から自立へ	・既支給者へのチェックが必要ではないか。
7 福祉医療 P 11	◇福祉医療事業 → 改善 課題：県制度の見直しにより市単独事業に大きな影響が生じることから、現在の市の負担を超えない範囲で段階的な措置を含め、緩和した施策で見直し	・高砂市は医療費助成に関して、あきらかに他市に遅れをとっている。財政的な問題もあるが、前向きに検討してもらいた。

第2節 保健・医療の充実

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
1. 保健衛生 P 1 2、1 3	◇高砂市健康増進計画の推進 → 継続・改善 課題：健診の受診率が低い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防事業は健診中心であるが、本来の目的（予防）を果たすべきである。 ・ 予防をどこに重点化するのが課題 ・ 妊婦健診が計画に盛り込まれていない。 ・ 自殺予防について、市の姿勢が見えない。
2. 地域医療 P 1 4、1 5	◇病院改革プランの推進 → 継続 課題：市民病院の経営の健全化、効率化に向けた取組 課題：2次救急体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の命を守ることを第一とし、地域医療環境を整えてほしい。 ・ 東播2市2町の医療体制整備の計画が具体的に進んでいない。 ・ 高砂市民病院はオールマイティーである必要はなく、加古川市民病院と共に医療体制の整備を進めてはどうか。 ・ 市民病院の経営問題、当面の課題である。今後どのような方向に進むか検討すべきである。 ・ 少子化のなか、生まれた子どもを元気に育てる環境を整えることが大事である。

第3節 社会保障の充実

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
1 国民健康保険 P16	改善 課題：特定健診、特定保健指導の受診向上	<ul style="list-style-type: none"> ・いったん全額自己負担しなければならないため、医療にかかれないという状況に関する対応は何か考える必要があるのではないか。 ・国民健康保険料未納で保険を受けられない者がどの程度いるのか、また、その対応策が見えてこない。
2 国民年金 P17	継続 課題：制度変更に早期対応（周知）	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしに困っている人の所得補償、社会保険制度として年金があり、それが受けられない場合に、セーフティーネットとして機能する生活保護ですという。組み立てをすれば、第4次総合計画においては、より解りやすくなるのではないか。
3 介護保険 P18	<ul style="list-style-type: none"> ◇高砂市福祉計画及び高砂市介護保険計画の推進 <ul style="list-style-type: none"> → 継続・改善 ◇地域包括支援センター <ul style="list-style-type: none"> → 継続 ◇地域密着サービス <ul style="list-style-type: none"> → 継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険は、第1章、第1節、4. 高齢者福祉に組み込んだほうが読んだときすっきりとしてわかりやすいのではないか。
第3節全般		<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障は、基本的に国の制度だが、市単位での上乘せ部分も出てくる。社会保障として、やはりきちっと市の方針は記載すべきではないか。 ・社会保障という大きな言葉、第1章のタイトルぐらいに持ってこない、ピンとこないのではないか。 ・第3節は、制度を取り上げているので、全体的な流れで違和感がある。第4次では、読む者がスムーズに入っていく流

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
		<p>れにすればどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政権交代もあり、所轄官庁にも変動があるだろうが、社会保障や医療の問題は基本的な方向性は変わらない。第4次にどういった影響があるか見定めが難しい。

第2章 こころの豊かさと人を尊重したまちづくり

『人間教育の推進と人権・平和の尊重』

第1節 学校教育の充実

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
1 就学前教育 P19	◇幼保一体化の推進 → 改善 課題：施設整備、混合クラスの検討、幼児数の推計等	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保一体化には、どのような困難点があるか。またそれは克服可能か。 ・幼児教育は幼保一緒に指導する方向で考えていくべきである。 ・保育園と幼稚園が一元化したときの保育環境の変化が気になる。 ・4つの目的（①少子化の進行の中で望ましい集団保育の実施、②同じ地域で共に育つ環境の確保、③異年齢児とのふれあい体験の醸成、④同一指導計画による就学前の教育・保育の保障）を持って、すべての子どもの育ちを支える共通の教育が就学前教育でなされていこうとしているのならば、高砂市は非常によい。
2 義務教育 P20、21	◇小・中学校耐震補強等事業 → 充実 ◇各種施策・事業 → 継続 ◇学校給食の充実 → 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室、不登校対策については、行政が力を入れるものである。 ・「保護者の教育」という表現が出てくるが、これはどういうことか。 ・家庭教育という問題、何か視点を合わせて論議すべきではないか。 ・幼・小・中の校舎の耐震化工事を早急に進めてほしい。そ

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
<p>3 障害児教育 P 2 2</p>	<p>◇特別支援教育研究委託事業 → 継続 ◇交流活動の推進 → 継続 課題：個々に応じた支援・指導の充実（教職員） ：特別支援教育の理解・啓発を促進</p>	<p>その他の施設の充実については、財政的な問題と絡め、優先順位をつけて実施してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児教育は、子ども、親の目線で進めるべきである。基本目標が教師側の視点で書かれているので、子ども、親主体の文章に直すべきである。 ・義務教育における障害児教育の位置づけはどうか。 ・障害者、健常者、ともに行動することが普通になってきている。市は率先してやって欲しい。 ・障害の種別を認識して、教育・訓練を行うべきで、早くからの対応が大事である。 ・障害児を持つ親御さんに、障害に応じた、早くから対処すれば、それなりの障害を克服できる。それで社会に対応していける訓練ができる。ということを親御さんに親身に接して理解を求める必要がある。
<p>4 人権教育 P 2 3</p>	<p>◇高砂市人権教育及び啓発に関する総合推進指針に基づく行動計画の推進 → 継続・改善 課題：人権問題も多様化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性に基づき、継続、改善とする。
<p>5 高等学校教育 P 2 4</p>	<p>◇奨学金の充実 → 継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性に基づき、継続とする。

第2節 生涯学習の充実

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
1 生涯学習 P 2 5	◇生涯学習推進体制整備事業 → 継続 ◇放課後子ども教室の実施 → 継続	・高齢者大学、他都市の事業を参考にしてはどうか。
2 学習拠点施設 P 2 6	◇新図書館建設事業 → 改善 課題：財源の確保 ・庁内の検討委員会を設置して検討中 ◇教育センター整備事業 → 改善 課題：代替用地の確保	・図書館建設に、莫大な金をかけて整備する必要があるのか。 ・現在、行政として、図書館建設について検討委員会で、検討中とのことであるが、早期に結論を出し方向性を定めて欲しい。 ・広域で効率よく利用できる方法を検討すべきではないか。 ・蔵書目録をコンピューター化し、市民ができるだけ利用しやすい体制作りを提案する。 ・教育センターの機能・運営に関して、充分論議を重ねる必要がある。

第3節 青少年の健全育成

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
1 青少年 P 27	継続 課題：地域内の指導者不足、育成者の高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・市の指導者育成計画はどうなっているのか。 ・若い指導者を育成するのが有効である。市が力を入れるようお願いしたい。 ・青少年健全育成協議会への市からの助成金の減額が、活動資金面で影響があるのではないか。 ・団塊の世代の人に指導を任せるのも一つの方法ではないか ・若い指導者を育てることは大事である。若い指導者を育てるチーフとして、団塊の世代を活用する発想もある。

第4節 芸術・文化の振興

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
1 芸術・文化 P 28、29	<ul style="list-style-type: none"> ◇旧入江家保存整備事業 → 充実 課題：表屋以外の保存修理 ◇申義堂の復元整備事業 → 継続 課題：整備後の活用方法・管理方法 ◇歴史文化基本構想（策定中）に基づく地域づくり → 新規 ・文化財総合的把握モデル事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度、指定文化財の管理は可能なのか。 ・文化財の案内板に、大人用、子供用二種類設置するようによければどうか。 ・高砂市美術展、早く市の努力で再開して欲しい。 ・高砂市美術展、費用をかけずにできる方法を考えてもらいたい。

第5節 スポーツ・レクリエーションの振興

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
1 スポーツ・レクリエーション P31	◇スポーツクラブ21育成支援 → 改善 課題：小学生の参加者が少ない地域があるため、参加種目の見直し ◇総合体育館整備事業 → 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉部の分野だけで障害者スポーツをするのは、考え直すべきで、合同開催を要望する。 ・スポーツの中で、障害者の項目も設けてもいいのではないかな。 ・障害者のスポーツをこのスポーツに入れるのか、障害者に入れるのか。障害を先に考えるのではなく子供（児童）であることを考えてほしい。できるところは、一緒にしていくべきである。

第6節 人権・平和の尊重

施策の分野	事業の方向性等	考え方・意見等
1 人権 P32	継続・改善 ・高砂市人権教育及び啓発に関する総合推進指針に基づく行動計画の推進	・人権について、第3部会で協議しているが、第1（部会）も第2（部会）、関連するところは、盛り込んでもらいたい。